

---

# 俺の姉ちゃんは・・・

紅夜

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

俺の姉ちゃんは・・・

### 【コード】

N0333T

### 【作者名】

紅夜

### 【あらすじ】

この話は、超ブラコンの姉と超シスコンの弟とその回りの奴らがやる日常？的ラブコメー！！

## プロローグ(前書き)

プロローグらしく無いですがよろしくお願いいたします

## プロローグ

????

????「翼<sup>ツバサ</sup>、この人がお姉ちゃんだぞ」

????「お姉・・・ちゃん？」

????「初めまして翼くん、私は唯<sup>ユイ</sup>だよ」

????「よろしくね唯お姉ちゃん！」

数十年後

翼「またあの日の夢か……」

翼は寝ぼけてる体を起こし、階段を降りた

彼の名前は天野翼<sup>アマノツバサ</sup>、髪は短く少しワイルド、姿、運動、成績は上の上  
髪の色は黒

翼がキッチンに行くと

唯「あっ、翼おはようー！」

翼「おはよう唯姉ちゃん」

唯「もう、唯って言うてよ」

翼「そのうちな」

この美人の女性は天野唯<sup>アマノユイ</sup>、髪は長く腰ぐらいまでのストレート、翼の義理姉である、姿、運動、

成績は上の上

髪の色は翼と同じ黒

唯「速く食べよう」

翼「わかった」

今朝の朝食は和食だ

数十分後

翼「姉ちゃん、先に行くよ!」

唯「わかった、事故に合わないようにね」

翼「わかってるって」

翼は制服に着替えて、学校に行った

翼が歩いていると…

????「翼」

翼「ん? ああ、夏蓮<sup>カレン</sup>か」

夏蓮「おはよう、一人で行くの？」

翼「ああ」

タミヤカレン  
田宮夏蓮

翼の幼なじみでツンデレ

髪型はツインテール

髪の色は金

姿は上の上

翼「夏蓮こそ、どうしたんだ？」

夏蓮「たまたま、遅かったのよ」

翼「ふーん…」

夏蓮「な、何よ?」

翼「まさか、わざと?」夏蓮「な、何で私がアンタと登校したいと!?!」

翼「まあ夏蓮だからそれは無いか(笑)」

夏蓮「べ、別にアンタの好きだから一緒に行こう…」

その時

?????「おっ?翼!」

翼「よつ玲音<sup>レオン</sup>」

玲音「また大変そうだな」

翼「そうかな？軽く流せば良いし（笑）」

玲音「アイツは相変わらずだがな…」

玲音と翼が見た先には・・・

????「夏蓮ちゃん！もう一回ツンツンしてよ？」

夏蓮「はあ！？さつさ死んでよ、エロ智<sup>サトル</sup>」

智「頼むよ〜」

翼「まあ・・・いつもだな」

玲音「ああ…いつもだな」

ハシグチサトル  
橋口智

姿は上の下

イケメンでスポーツと勉強はある程度？出来るが…  
エロゲーとアニメなどの色んなオタクなため女子からは少し引かれ  
てる

男子からは盗撮などの写真をあげたりしてるため英雄扱いだ、翼の  
親友だが本人はあんまりそう思って無い

髪の色はメツシユのかかった銀

コムラレオン  
小村玲音

翼の親友であり、ツッコミ?である

姿は上の中

多少の事では動じないが・・・  
やさしいがケンカは最強  
髪の色はメツシユのかかった赤

玲音「そういえば、翼」

翼「何だ玲音？」

玲音「翼のお姉さんが探してたよ」

翼「・・・拉致られる」

玲音「逃げた方が…」「翼ちゃん！」「遅かったな」

翼「玲音、助けてくれるよな？」

玲音「いや、おもしろそうだがら助け無いよ（笑）」

翼「ちょ!?!?」

すると玲音は



玲音「唯さん、ここに翼がいますよ〜！」

唯「うん、ありがとう玲音君、翼ちゃん待っててね」

この後、翼は唯お姉ちゃんに拉致られて学校に行けなかったと…

## プロローグ（後書き）

感想をよろしくお願いいたします

第一話「いきなり副会長!？」(前書き)

遅い更新ですいません(泣)

## 第一話「いきなり副会長!？」

翼「今朝も姉ちゃんに拉致られるところだったな…」

翼はあの後逃亡したが…

翼「まあ学校はサボるか」

翼はゲーセンに行くことにした

ゲーセン

翼「さて、何をするか」

翼が目についたのは有名なガンシューティング、ゾンビハザードだった

翼「どこまで行けるかな？」

10分後…

翼「あゝゲームオーバーかよ」

翼は次に何をしようか迷っていたら…

????「やめて下さい!」

チンプリラー「良いじゃねえか、ちよっと来いよ」

「?????」「僕が何したんですか!」

チンピラ2「いいから、来いよ!」

「?????」「や、やめて!」

翼「助けないと!」

翼はチンピラと少女の間に入った

翼「やめてあげて下さい!可愛いそうじゃないですか」

チンピラ「はあ?ガキがでしゃばってんじゃねえよ!」

翼「逃げるよ!」

翼は少女の手を引っ張ってゲーセンから逃げた…

数分後

翼「はあはあはあ…大丈夫?」

「?????」「君、僕を助けてくれてありがとう」

翼「そういえば名前言って無かったね、俺は天野翼」

「ミミ」「僕は前田ミミ(マエダ)ありがとうね翼君」

翼「前田さんが無事なら良いよ」

ミミ「僕、行かなきゃいけない所あるからじゃあね！」

翼「気をつけてね」

ミミは翼にお礼を言うかどうかに行った…

翼「さて、昼飯に行きますか」

アイサカコウコウ  
逢坂高校生徒会室

???「前田、遅かったな」

ミミ「あつ、川村先輩すいません」

夢「まあ良いが、何かあったのか？」

ミミ「チンピラに絡まれてそこで少年に助けられたんです」

夢「へえー、その少年のなまえは？」

ミミ「確か、天野翼だったと思います」

前田ミミ（マエダ）

僕っ子で前髪をピンで止めてる

実は翼の後輩

髪の色は緑

カワムラユメ  
川村夢

上はポニーテールで身長は翼と同じくらい  
翼の先輩で実は唯の親友  
髪の色は青

唯「ミミちゃん、それ本当!?!」

ミミ「わあ!?!会長、ビックリするじゃないですか」

唯「ゴメンゴメン」

その後……

唯「決めた!」ミミ「何をです?」

夢「何をだ?」

唯「翼ちゃんを副会長にする!」

夢「ほう、理由は?」

唯「なんとなく!」

夢「……だと思った」

唯「宗次君!」

宗次「何だ会長?」

唯「集会の準備を!」

宗次「ハイハイ」

サトウソウジ  
佐藤宗次

翼の先輩であり、メガネをかけていて知的に見えるがサボりの常習犯である

さまざまな人の弱みを持っている

唯「さてと、私は翼ちゃんを連れてきます」

夢「気をつけて行けよ」

唯「はい」

夢「前田、手伝え」

ミミ「分かりました」

一方……

店員「ありがとうございます」

翼は昼食後のコーヒーを買い楽しもうとしていた

翼「やっぱりコーヒーはショージアだよな」

しかし……

唯「翼ちゃん見つけえ！」



翼「ブツ！唯姉！？」

唯「翼ちゃんついて来て！」

翼「唯姉、痛いって！」

翼が唯に連れて行かれた先は・・・

逢坂高校 体育館

ガヤガヤ…

夢「てめえら静かにしやがれ！」

宗次「夢、そろそろヤバいぞ」

男生徒1「何で会長がいないんですか！」

男生徒2「そうだそうだ！」

ミミ「唯先輩の気はすごいですね・・・」

夢「唯、どこにいるんだ？」

その時

ガチャン！

唯「ごめん皆、遅くなった！」

ウオオオオ！

男生徒1「会長が来たー！」

男生徒2「会長様のお通りだあ！」

翼（どこのオカルト集団だ？）

翼はこの生徒達を不思議そうにしてると

女生徒1「ねえねえ、あの人イケメンじゃない？」

女生徒2「キヤーこっちに向いた！」

女生徒3「こっちにも来てえ！」

翼「・・・唯姉、なんか怖い」

唯「大丈夫！今から宣言しちゃうから」

翼「えっ、何を？」

唯はマイクを持つと・・・

唯「今来たこの子は私の弟君でえ、新しい副会長です」

全員「えっーーーー！？」

その時翼は・・・

翼「ウソだろー！ー！？」

「ついでに副会長にさせられた翼、さてこれからどうなるか！？」

## 第一話「いきなり副会長!？」（後書き）

逢坂高校について

逢坂高校は私立の高校で年間行事がとても多い  
そのため、普通はあり得ない行事とか行われる

高校の設備

基本的に普通の私立の高校と同じである

トレーニングルームや温水に出来るプールもあり、スケート場などもある

高校の教訓

人に優しく、人に感謝、一期一会

こんな下らない感じのが教訓?である

高校の寮

男子寮の方が「アオソラリョウ蒼空寮」

女子寮は「シンアイリョウ心愛寮」  
である

第二話「弟の災難」(前書き)

遅くなつてすいません

## 第二話「弟の災難」

翼の自宅 リビング

翼「唯姉、いっただいどういう事！」

唯「良いじゃん翼ちゃん」

翼は帰ってから唯に話を聞いてた  
なぜ俺が副会長をやることになったか

翼「絶対何かあるでしょ！」

唯「無いよ」

翼「じゃあ何で？」

唯「翼ちゃんが部活に入って無いから」

翼「・・・それで無理やり？」

唯「うん、会長命令！」

翼（まあ姉ちゃんが会長なら仕方ないか…）

翼はもう聞くのは無駄だと思つと立ち上がり

唯「どこに行くの？」

翼「ああせつかくだし夕飯の材料を買いに行くけど唯姉ちゃんも行く?。」

唯「うん行く!。」

タツタツタツ…

翼（姉ちゃんと出かけるの久しぶりだな…）

すると…

唯「お待たせ」

翼「じゃあ行こうよ」

唯「うん」

翼と唯は夕飯の買い物に出かけた…

逢坂町 アーケード

翼は唯ともに出かけていたのだが…

女1「あの男の子イケメンじゃない?。」

女2「でも彼女持ちじゃん」

すると…

チャラ男1「ねえねえ俺とどこか行かねえ?。」





すると唯は翼の耳元で

唯「お姉ちゃんのカ・ラ・ダ」

翼「ブー！？」

翼はいきなり唯からこんなことを言われて鼻血吹き出した

翼「ゆ、唯姉ちゃんいきなりなんだよ!？」

唯「知ってるよ、ベッドの下に隠してるのを…」

翼「!？」

少し前： 翼の家 翼の部屋

智「お願いだ翼!これを隠さしてくれ!

智は翼に本を渡した:

タイトルは『お姉ちゃんと一緒に』

翼「これ、お前のエロ本じゃねえか!？」

智「違う!保健の教科書だ!」

翼「唯姉にバレたらどうするんだよ!？」

智「しかも、お前の好きなお姉ちゃん系だ」

翼「あっ、マジで?」

智「じゃよろしく」

（確かにあんなことあった…じゃなくて今の状況どうすれば良いんだよ!?!）

すると…

唯「な〜んだ翼ちゃんのじゃないんだ」

翼「えっ? うゝ、うん」

唯「つまらないなあゝ」

翼「えっ!?!」

唯「ねえ、どつちか言ってよゝ」

唯は翼の右腕を逆方向に曲げながら聞いた

翼「唯姉ちゃん!?!マジ死ぬから!?!痛いから止めて!?!」

唯「やあゝだあゝ!」



唯「しかも着いて来たよ」

翼「とりあえず、家に連れて帰ろう…」

翼の家

唯「どうして翼ちゃんになつくんだろ？」

翼「唯姉ちゃんにもなついてるじゃん」

犬「ワン！」

唯「名前はポチにしよう！」

翼「単純だね」

こうして、天野家に新たな家族が出来た

第二話「弟の災難」(後書き)

ポチ

性別 オス

種類 マメシバ

翼になつく

唯にも一応なつくが微妙だ  
しかも他の奴に対しては怖い

第三話「夢のデート 前編」(前書き)

遅れてすみません！

### 第三話「夢のデート 前編」

翼の家 翼の部屋

翼「はぁ・・・」

ポチ「ワン？」

翼「ポチ、どうしたら良いと思う？」

ポチ「ワン！」

翼「そうだな…って唯姉いつまでいるの？」

唯「あら、気づいてた？」

唯は翼の部屋の棚にあったマンガを読んでいた

翼「唯姉はなんか無いの？」

唯「もちろん無いよ」

翼「はぁ・・・」

翼はもう一回デート特集の雑誌を読んだ

何故、翼がこの雑誌を読まされるかは二日前の事だった・・・

二日前 逢坂学園 生徒会室

夢「明日買い出し行くのに手伝ってくれないか？」

翼「えっ？別に良いですけどどうかしました？」

夢「まあ気にするな」

翼「・・・？」

夢（これで少し弟君をからかってみるか）

夢は買い出しと言つた名のデートで翼をわざとからかおうとしてるの  
である

翼の家 翼の部屋

翼（俺、姉ちゃんとデートはあったけど、川村先輩は・・・）

翼はなぜかへんな汗をかきはじめた



翼（・・・多分殺される！）

そう、翼の中では川村は姉ちゃんに少し、護衛術とケンカ術を教えた人である、つまり・・・

翼「逆らったら死ぬ！」

唯「どうしたの翼ちゃん？」

翼「ああー！ー！？すみませんすみません！逆らわないから許して！」

唯「・・・翼ちゃん？」

翼「はっ！？唯姉！？」

唯「どうしたの？」

翼「ちよつとね・・・」

翼は台所に行こうとしたら・・・

ガシッ

翼「ゆ、唯姉？」

唯「お・は・な・し」

翼「う、うわあああああ！？」

次の日　かもめデパート

翼「す、すいません川村先輩」

夢「天野、遅れるとは良い度胸だな？」

翼「昨日、唯姉に拷問・・・じゃなくて、面談されたんです」

夢「言い訳など聞かん！早くしろ」

翼「はい・・・」

夢（少し強すぎたか？）

翼（逆らったら鉄拳・・・！）

なぜか二人の心の中は違った

一方・・・

唯「二人ともごめんね」

宗次「いや気にするな」

ミミ「大丈夫ですよ」

宗次とミミ「天野（先輩）の面白い反応が見れるから」

唯「ありがとう」

なんと唯は着いてきてたのだ！

唯「作者さん」

はい？

唯「黙って」

グシヤ

かもめデパート ガイゾー

翼「川村先輩、何を買うんですか？」

夢「ん？ファイルや書類だ」

翼「他のが入ってませんか？」

夢「気のせいだ」

翼「えっ？でも・・・」

夢「次に行くぞ」

そして翼と夢はカフェに向かった

かもめデパート ハピネス

唯「翼ちゃんと夢が入って行ったね」

唯は宗次から借りた双眼鏡で二人の様子を見てた

「ミミ」でも、天野先輩が振り回され過ぎですよ」

宗次「彼もまんざらでは無いみたいだな」

唯「うーん、翼ちゃんってMなのかな？」

宗次「いや、ドMだな」

三人が隠れて話してる中・・・

夢「君は食べないのか？」

夢はハッピーパフェを食べながら翼に聞いた

翼「僕は良いですよ、あんまりお腹空いてませんし」

しかし・・・

ギュー・・・

翼「こ、これは!」

夢「食べるか？」

翼「えっ!？」

翼は夢からパフェを貰おうとした

翼「じゃあ・・・」

しかし

夢「やらないに決まってるだろ」

夢は翼にイチゴをあげようとしたがあげなかった

翼「そりゃそうですよね」

翼は軽くへこんだ

夢（少しイジメ過ぎたかな？）

翼（川村先輩がくれるわけないよな）

一方・・・

唯（私の翼ちゃんに近づき過ぎだよ・・・）

唯が一人で考えていると・・・

ミミ「唯先輩、泣いてるんですか!？」

唯「・・・え？」

唯は気づかないうちに泣いてた・・・

唯（私、夢と翼ちゃんが一緒にいるだけでも嫉妬しちゃうんだ・・・）

唯は自分でも気づかないうちに翼の事を本気で好きになってた…

後編に続く…

#### 第四話「夢のデート 後編」

デパート内を翼と夢がブラブラしてると…

店員「そのカップルさん！」

翼「僕たちですか？」

店員「今日、カップルのみ映画が半額だから」

スターライト（映画館）

翼「夢先輩、どっちが良いですか？」

翼の両手にはキャラメル味のポップコーンとイチゴ味のポップコーンを持って来た

夢（むうーどっちが良いんだ）

夢はかなり迷ったので翼に聞いてみた

夢「天野、お前はどっちが良いんだ？」

翼「えっ！キャラメルが良いですけど・・・良いんですか？」

夢「今日・・・その・・・っ、付き合ってくれたお礼だ・・・」

夢は顔をリンゴのように真っ赤にしながら言った

夢（ああーもう！めちゃくちゃ恥ずかしい・・・）

翼（ゆ、夢先輩がめちゃくちゃ可愛い！！）

二人は思考停止していると・・・

アナウンス「三番スクリーン、「ラブストーリー」の入場を開始  
しますチケットをお持ちの方は・・・」

翼「ゆ、夢先輩、行きませんか？」

夢「あ、ああ・・・」

すると・・・

ギョ・・・

夢「!?!?」

翼「そ、その・・・迷子にならないように・・・」

翼は夢の右手を握った



すると・・・

夢「そうだな・・・」

夢も翼の左手を優しく握った・・・

唯「・・・」

宗次「面白いな」

ミミ「そうですね」

宗次とミミは笑いながら見ていたが…

唯<sup>ワンピョ...</sup>

唯だけは受け入れたく無かった

唯（翼ちゃん、あんなに楽しそうにしてるの久しぶりに見た・・・）

唯「・・・帰ろう二人とも」

宗次とミミ「えっ？」

唯は黙って帰ったが・・・

唯（私はどうしたら良いの・・・）

唯はただ一人泣きながら悩んでた...

翼「先輩、どうでした？」

夢「すごく感動した」

映画の内容は、同じ高校の男女二人がさまざまな壁にぶつかりながら成長し、付き合っていくストーリーである

夢は映画の名シーンを思い出していた

夢（私もあんな感じに付き合えたらな・・・）

その名シーンは、壁を乗り越えた二人が屋上で告白し、キスをするシーンだが・・・

夢（・・・私はあんなに可愛くないし、大人しくないからな・・・）  
そして思わず

夢「はあ・・・」

溜め息をした

エンジョイゲーム（ゲームセンター）

翼と夢はパンチングマシンで勝負をすることにしたが・・・

夢「勝った」

翼「・・・」

翼は啞然としていた

翼（普通は男子が勝つはずだよね・・・）

ちなみに、結果は・・・

翼 50kg

夢 100kg

翼は学んだ、唯姉の次に怖いのは夢先輩だ・・・

その次はスーパークライシスと言うシューティングゲームをしたが・  
・

翼「先輩、めちゃくちゃ凄いです!」

夢「そ、そうか?」

翼 32500点

夢 112500点

翼は最後に夢とプリクラを撮ろうとしたが・・・

翼(・・・夢先輩大丈夫かな?)

翼も唯姉や智達と撮ったりするが、唯姉以外の女子と二人で撮るのは初めてだった

翼「夢先輩、一緒に撮りませんか?」

すると・・・

夢「ほ、本当か!？」

意外な反応をした

夢(天野とプリクラ・・・!)

夢は一人で夢の世界に突っ込んでたが・・・

翼「先輩、撮りますよ？」

夢「あ、ああ！」

その後・・・

翼「かなり良かったですね」

夢「そうだな」

夢（天野と二人だけの秘密・・・！）

そして・・・

夢「な、なあ天野・・・」

翼「どうしました先輩？」

夢「わ、私の事を今度から夢って呼んでくれないか？」

翼「・・・えっ？」

夢「・・・頼む」

翼は最初戸惑ったが、意を決した

翼「・・・わかりました」

夢「……」

翼「……夢」

二人の間に一年よりも長い一秒に感じた……

翼「夢、聞いてる？」

夢「わ、わたしも天野ではなく、翼って呼ぶな」

翼「あっ、はい」

夢「あと、敬語は使うな」

翼「えっ！？良いんですか？」

夢「うっ、うん」

こうして、翼と夢のデートは無事終わった……

第四話「夢のデート 後編」(後書き)

次回はキャラ紹介です

たぶん？

## キャラ紹介1 (前書き)

今回は主要キャラ紹介です



## キャラ紹介1

アマノ ツバサ  
天野翼

髪 短く少しワイルドの黒色

この物語の主人公

唯とは血の繋がりが無い義理の姉弟である

料理は得意

女子にモテるが、唯と夢の影響により苦手である逢坂高校 生徒会

副会長

極度のシスコン？

アマノ ユイ  
天野唯

髪 腰ぐらいいまで長いストレートの黒色

翼の姉

美人で男子からモテモテだが実際は弟の翼にしか興味ない

よくナンパされたりするが夢が教えた護身術を使って応用したりするが骨の一本持っていたりしたりしてしまう

翼には関節技をやったりなど、どっかのアイアンクローを使ったり

する姉そっくりである

極度のブラコン

逢坂高校 生徒会会長

タミヤ カレン  
田宮夏蓮

髪 ツインテールの金色

翼の幼なじみ

ツンデレで翼にアタックしてるが、未だに通じず とても可哀想な子である

カワムラユメ  
川村夢

髪 ポニーテールの青色

唯と同じクラス

翼の事が好きだがいつも空回りしてしまう  
弓道部の部長

自分で護身術を考え翼に試してみた所、翼に恐怖を植え付けてしまった

逢坂高校 生徒会書記

前田ミミ

髪 ショートの緑色

前髪は星形のピンで、止めてる  
僕っ娘

翼の後輩で同じ高校いる趣味は先輩である翼をいじり倒すこと  
逢坂高校 生徒会会計

サトウソウジ  
佐藤宗次

髪 ショートの薄い赤

翼の先輩

メガネをかけていて知的に見えるが問題生徒  
遅刻しそつになつたら窓ガラスを割つて登校したり、学園長の銅像  
の首を破壊して着ぐるみの頭を被せるなどいろいろやる逢坂高校  
生徒会書記及び御意見番

ハシゲチ サトル  
橋口智

髪 ショートのメツシュがかかった銀色

翼の友達でイケメンだがオタクでエロゲーをやりまくってるバカ  
勉強と運動はある程度出来るが？・・・  
趣味は盗撮

コムラ レオン  
小村玲音

髪 ショートのメツシュがかかった赤色

翼の友達

喧嘩はかなり強いが、優しく友達思い  
多少のことでは動じない

逢坂高校

逢坂町では有名な高校

様々な設備がいろいろある

学生寮は

男子寮

アオゾラリョウ  
蒼空寮

女子寮

シンアイリョウ  
心愛寮

教訓

人に優しく、人に感謝、一期一会

逢坂町

なぜか知らないが名産品は虎の人形

キャラ紹介1（後書き）

今回は疲れた

翼「大丈夫すか作者さん？」

バカやろう、テストが怖くてつらいよ

翼「・・・」

## 第五話 「家出」

夜 天野家 リビング

唯「翼ちゃんは誰が好きなの!？」

翼は夢のデートから帰って来て聞かれた

翼(唯姉、いきなりなにを?)

翼「姉ちゃん、いきなりなんなの?」

唯「なんなの、じゃなくて誰が好きなの!」

翼「だからそれは・・・まさか姉ちゃん、今日追跡してた?」

唯「・・・」

翼「黙ってないで答えてよ!!!」

唯「じゃあ翼ちゃんも夢とベタベタしないで!!!」

翼「なんでいきなりそんなこと言うの!!!」

唯「うるさい!」

そして翼は禁断の一言を言ってしまう...

翼「姉ちゃんなんか大嫌いだ!!!」

そう言うと翼は家を出ていった

唯「翼ちゃんなんか大嫌い!!」

その現場を見たポチは・・・

ポチ（これはかなりヤバいかも…）

逢坂町 公園

翼（なんであんな事言ったんだろ？）

翼はさっきの事を後悔してたが…

翼（まあ明日から連休だし、どっかに泊まるっつ）

翼は泊まる場所を考えていると…

????「天野翼君ですね？」

いきなり黒スーツの男に話しかけられた

翼「は、はいそうですね・・・」

すると・・・

ドスッ

翼は男に手刀で気絶させられ、男は車に向かった

男「お嬢様、ターゲットを連れて帰ります」

男は無線で連絡すると車は発車していった…

次の日 天野家

唯（結局帰って来なかった・・・）

唯は昨日の事を反省していたが…

唯（きつと帰って来るよね）

すると・・・



唯「ポチ、ご飯にしよう〜！」

ポチ「ワン！」

ポチ（唯姉ちゃん、かなり辛そう…）

???

翼「うつ…ここは？」

翼は寝ていた、しかもキングサイズのベッドでぞして…

???'「ふにゆ〜…」

隣で美少女が寝ていた

翼「うつ、うわああああ！？」

ガチャ

入って来たのはメイドさんだった

メイド「おはようございます翼様」

翼「えっ？なんで僕の名前を・・・」

そして・・・

????「青葉アオハな〜に〜？」

青葉「お目覚めの時間でございますサクラ桜様」

桜「う〜ん〜まだ寝たいよ〜」

すると桜は翼を引き寄せ抱きつきながら寝ようとした…

翼（ちよつと待って！！で、出れないし、甘い香が・・・）

すると・・・

メイド「ねえ〜直輝ナオキ〜お腹空いた〜!!」

直輝「お待ちください小葉様コトハ、せっかく面白い光景が見れてるのに  
良いんですか？」

翼「あの〜これは？」

翼はあのあと、起きてから食事することになったが…

青葉「普通のお食事です」

翼（いや、食事っていうよりバイキングだよね？）

バカみたいに料理がたくさんあった

直輝「さて、そろそろ説明いたします」

執事の直輝さんが僕をここに連れてきた理由を説明した

直輝「あれは、武蔵様と和也様が決めたことでした」

ちなみに桜の父が武蔵<sup>ムサシ</sup>  
翼の父が和也<sup>カズナリ</sup>である

過去 黒月家

この家の主、黒月武蔵は親友、天野和也と日本酒を飲んでいた…

武蔵「いやあ和也、どう思う?」

和也「なにが?」

武蔵「なにがって翼君の事だよ」

和也「翼がどうしたんだ?」

和也はゆっくり味を楽しむように飲んでいると…

武蔵「いやあ、うちの桜を将来嫁にしないかなって?」

ブツ!

和也は豪快に日本酒を虹のように吹いた

和也「な、なに言ってるんだよお前!」

武蔵「だから、桜を翼君の許嫁にしないかって?」

和也「・・・お前自分がなに言ってるか分かってるのか?」

武蔵「俺は本気だ」

和也「・・・なら良いが」

現在 黒月家

直輝「という訳でございます」

翼「はあ…」

桜「私はお父様に翼の許嫁として恥ずかしくないように様々な事を学びました」

翼（・・・なんも聞いてないよ僕…）

チエツカース（カフェ）

夢「翼が帰ってこない？」

唯「うん」

夢「ケンカしたのか？」

唯「・・・うんちょっとね・・・」

夢「まあそのうち帰って来るだろ」

黒月家 リビング

翼「じゃあ今この家にいるのは桜さん、青葉さん、小葉さん、直輝さんの四人ですか・・・」

青葉「いえ、まだたくさんいたんですが・・・」

小葉「今は、みんな長期休みだから少ないの」

翼「なるほど」

翼はこのあと、桜の家に泊まった



## 第六話 「姉弟」

黒月家 朝

翼「ありがとうございます」

桜「良いのですか翼様？」

翼「うん、また遊びに来るから」

桜「ええ」

翼は黒月家をあとにしたが・・・

直輝「翼様はこれからどうするつもりですか？」

住宅街

翼（はぁ…飛び出したけどこれからどうしようか…）

するじ・・・



「????」翼……?」

翼「はい?」

翼は後ろを振り返って見ると…

「????」やっぱり翼だ…」

茶髪の女性がいた…

翼「あのおくどちら様ですか?」

すると茶髪の女性は言った

「????」私はゆり、天野ゆり、貴方の実の姉だ翼」

翼「えっ…?」

ハナバタケ レストラン  
花畑

唯「うん!おいしい!」

夢「はあ……」

唯「夢ちゃん！食べないの？」

夢「ん？ああ、食べるが……」

夢と唯は昼ごはんを食べていたが……

夢（どうしてコイツはこんなに食べるんだか……）

夢は翼が家出していた事を心配してたが……

数時間前……

夢「スーツの男！？」

宗次「ああ、公園のホームレスから話は聞いた」

宗次は町の情報屋と知り合いなため様々な情報が入るのだが……

夢「……まさか誘拐？」

宗次「いや、リムジンに乗せられたらしいんだ」

夢「リムジン？」

現在

夢（訳が分からん）

唯「はむっはむっ!!」

夢（誰に誘拐されたんだ…?）

唯「ん!?んー!んー!?!」

夢（家出したなら私の家に来れば良かったのに…）

唯「ぷはあく、やっぱり甘いものだよね」

夢<sup>はあ…</sup>

唯「夢ちゃん?」

夢「なんだ唯?」

唯「ウルトラパフェ食べて良い?」

夢「だめ」

ゆりの家

ゆり「あはは！」

翼「な、なんで笑うんだよ!？」

ゆり「だって笑えるんだもん!!」

翼はゆりの家に来たが…

翼（本当にこの人、僕の姉さんなのかな？）

ゆりを少し疑っている…

ゆり「まあ、お前が私の弟だって疑うだろうしな」

翼「…えっ？」

翼（この人、僕の心を読んだよ!？）

ゆり「ビックリしただろ？弟の心くらい読めるって」

翼（…あり得ないよこの人…）

すると…

ゆり「例えば、私の初めてのブラジャー（ピンク色）をヨダレ垂らしながら抱き締めて寝たりとか」

翼「そうなの？」

ゆり「あとは、ケガをして私に泣きついたりとかもあったな」

翼「・・・」

ゆり「他には・・・」もういいから「そうっ？」

するじ・・・

ゆり「しばらく泊まるねばっ？」

翼「えっ！？良いの！？」

翼はゆりの家に泊まることにした





翼の家 唯の部屋

唯「はあ…」

唯は翼が帰って来ない事を心配してたが…

唯（前にもこんな事あったよね…）

それはまだ翼と唯が幼かった頃の話だ

過去 翼の家

唯（当時6才）

翼（当時5才）

翼「唯お姉ちゃん！僕のハニートースト食べたでしょ！！」

翼は怒っていた

自分の取っていたハニートーストを唯に食べられたのだ

唯「だから、あれはお姉ちゃんが悪かったって言ってるじゃん」



唯も翼に謝っていたが…

翼「もう・・・唯お姉ちゃんなんて大嫌い!!」

翼はそう言つと出て行ってしまった

現在 翼の家 唯の部屋

唯（あの時は私が悪かったな〜）

あの後、唯はどうか翼に許して貰ったが…

唯（あの日から翼ちゃんの反応が変わったよね…）

そう、あの日を機に翼の唯に対する反応は変わった

唯（ねえ…お姉ちゃん、何が悪かったのかな…？）

ゆりの家

翼「はあ…」

翼はなぜか泊まっている身なのに「ご飯を作っていた

????」「ほら、天野！早くメシ作ってよ」

ちなみにこの人は翼に胸を揉まれていた人である

翼「もう松崎さん、少しは待ってくださいよ」

雅海「うるさい、黙って働け!!」

ゆり「まったく、息を荒くしていた人とは思えないね」

マツザキ  
松崎雅海

髪 紫色の腰までのロング

ゆりと同じ高校だったがグレしたがゆりの親友である

夜 ゆりの家

翼「ええええええ！？松崎さんって聖悪魔のヘッドだったんですか！？」

セントデビル  
聖悪魔 逢坂町にいる二大レディースの一つ

雅海「で、今日の対決はお前も来い」

翼「……………えっ？」

雅海「今は寝て、夜動けるようにしろ」

翼「僕ケンカやタイムマンは無理ですよ！？」

夜 公園

翼は雅海に連れて行かれ、決闘の場所である公園に来た

雅海「ほら、男ならビシツとするー！」

雅海に翼は背中を叩かれたが…

翼「だって、11時ですよ？眠いですよ…」

翼が眠い目を擦っている…

???「ちゃんと約束通り来たな」

赤髪の女性が向こうから現れた

雅海「当たり前だ、そういうアンタも遅れずに来たな、小村」

翼「えっ…亜希さん？」

亜希「あら翼じゃん、どうしたの？」

亜希は翼を引つ張ろうとしたが…

雅海「私の翼に触れないでくれないか、ブラッフェンジンヘル血天使のリーダーさんよ」

亜希「ああ？コイツはうちの学校の副会長だからな、お前が触れるな？」

雅海と亜希が睨みあっていると…

女「ねえねえ僕？私たちと遊ばない？」

両方から翼を誘惑する声が出たが…

雅海と亜希「お前ら、私の翼ウチに手を出すな！」「」

二人がキレた

すると、雅海と亜希は殴りあい始めた

雅海「はん、そんなものか？血天使は？」

亜希「聖悪魔だってそんなものや無いやろ？」

こうして殴りあっていると…

翼「もう、止めてください！」

翼が叫んだ

翼「こんな事をするくらいなら同盟を結んだら良いじゃないですか！？」

翼（こんな事をしてダメなのに…）

すると…

亜希「なあ、聖悪魔さんよ」

雅海「なんだ、血天使？」

亜希「とりあえず、同盟を結ばないか？」

雅海「奇遇だな、私もだ」

亜希「ただ、条件付きやで…」



第八話 お姉ちゃん大集合!?(前書き)

更新が遅くてすみません

## 第八話 お姉ちゃん大集合!?

公園

翼「僕はいつたいたいどうしたら良いんですか？」

翼は追い込まれていた

雅海「どつちと夜を過ごしたいか考えな」

翼「……………一人で寝ると言う選択肢は？」

亜希「もちろん、無いでえ」

翼「……………不幸です」

翼のある意味、絶対絶命？ピンチ！！  
すると…………

唯「はあ……………はあ……………翼ちゃん！」

なんと唯がやって来た

翼「ゆ、唯姉？」

唯は翼を捕まえると、翼を抱き締めた

唯「翼ちゃん……………お姉ちゃんが悪かったね……………ごめんね」



翼「唯姉、いつたいなに・・・」

チュツ

唯は翼にキスをした

翼「えっ・・・唯姉？」

唯「私がずっとそばにいるからね」

唯は優しく翼を抱き締めた

むにゅ

いや、翼の顔を自分の胸に埋めさせた

翼「んー！？んー！んー！？」

唯「やあん、もう翼ちゃん暴れないでよ」

唯が翼で遊んでいると...

亜希「なあ、翼ちゃんどういう訳かな？」

雅海「内容によっては寝れないからな」

翼「嘘だあああ！？」

この後、翼は約束通り寝れなかった...  
しかも...

ゆり「・・・なんでお前が来たんだ」

唯「あら？翼ちゃんの姉が来ちゃ行けないのかな？」

ゆりと唯の火花が勃発した

翼「ねえ・・・」

唯とゆり「なに翼ちゃん？（なんだ翼？）」

翼「一応、夜食が出来たよ・・・どうしたの？」

唯「ううん、何でも無いよ」

ゆり「そうだぞ」

すると・・・

むにゅ

翼「えっと・・・皆さんどういしたことですか？」

唯「どっぴいっ事って・・・」

ゆり「お前が姉好きなのは分かってる」

雅海「だったらみんなで」

亜希「翼くんのお姉ちゃんになっちゃおうと言っことになっただ」

この後、翼は自分の秘密を知られてしまった・・・

ゆり「ほら、むにゅってされるのが好きだろ？」

翼「う、うん・・・」

翼はゆりの胸の中に埋れていた

翼（なんだろう・・・スゴく幸せな気分になる・・・）

すると・・・

翼「ゆりねえ」

ゆり「はいはい、よしよし」

唯（翼ちゃんのおんない幸せな顔、見たこと無い・・・）

唯はゆりに対して尊敬を送りながら悔しがっていた

翼（明日から学校なのに、災難だよ…）

翼はこの連休中、災難だらけだったから休みと呼べる休みが無かったのだ

翼（和馬なら泊められるよな…）

そう、翼は智や玲音の他に頼れる親友  
川村 和馬がいたのだ

ただ…

翼（和馬の本名って川村だよね…？）  
そして翼はチャイムを鳴らした…

ピンポーン

そして、出てきたのは…

夢「どちらさま…ま…？」

翼「えっ…夢先輩…？」

和馬「まったく、姉さん誰だよ…って翼、何してるんだよ？」

翼「和馬、夢先輩って…」

和馬「ああ、俺の姉貴だよ」

翼「えっ…」

そして・・・

翼「ええええええ！？」

第八話 お姉ちゃん大集合!?(後書き)

さて、今回のタイトルの通り、翼くんのお姉ちゃん?は増えてしまった訳ですがどうなってしまうのか!?  
次回もお楽しみ!

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0333t/>

---

俺の姉ちゃんは・・・

2011年12月11日05時51分発行